

(19) 日本国特許庁(JP)

### 再公表特許(A1)

(11) 国際公開番号

WO2008/111589

発行日 平成22年6月24日 (2010. 6. 24)

(43) 国際公開日 平成20年9月18日 (2008. 9. 18)

(51) Int. Cl.	F I	テーマコード (参考)
<b>C09B 67/54 (2006.01)</b>	C09B 67/54	Z
<b>C09B 61/00 (2006.01)</b>	C09B 61/00	C

審査請求 有 予備審査請求 未請求 (全 35 頁)

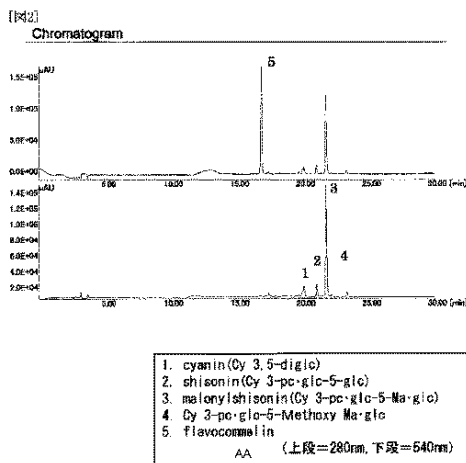
出願番号 特願2009-504059 (P2009-504059)	(71) 出願人 304028346 国立大学法人 香川大学 香川県高松市幸町1番1号
(21) 国際出願番号 PCT/JP2008/054411	
(22) 国際出願日 平成20年3月11日 (2008. 3. 11)	
(31) 優先権主張番号 特願2007-62641 (P2007-62641)	(74) 代理人 100115255 弁理士 辻丸 光一郎
(32) 優先日 平成19年3月12日 (2007. 3. 12)	(74) 代理人 100129137 弁理士 中山 ゆみ
(33) 優先権主張国 日本国 (JP)	(74) 代理人 100146064 弁理士 吉田 玲子
	(74) 代理人 100154081 弁理士 伊佐治 創
	(72) 発明者 田村 啓敏 香川県木田郡三木町池戸2393 国立大 学法人香川大学農学部内

最終頁に続く

#### (54) 【発明の名称】 精製アントシアニンの製造方法

#### (57) 【要約】

夾雑物とアントシアニンとを含む粗色素画分から、容易に精製アントシアニンを製造する方法を提供する。アントシアニンとアルカリ土類金属および重金属の少なくとも一方の金属イオンと共に金属錯体を形成するフラボンを準備する。そして、アルカリ土類金属および重金属の少なくとも一方の金属イオンの存在下、液体中で、前記夾雑物およびアントシアニンを含む粗色素画分と、前記フラボンとを接触させ、前記アントシアニンと前記フラボンと前記金属イオンとを含む金属錯体を形成させる。前記液体から、前記粗色素画分に含まれる夾雑物を除去して前記金属錯体を回収し、この金属錯体を、例えば、酸性処理することによって、前記金属錯体からアントシアニンを解離させ、純度の高いアントシアニンを得る。



AA UPPER CASE = 280 nm, LOWER CASE = 540 nm